



## 「ステークホルダー・ダイアログ」

頭取 大道良夫

3人の有識者の皆さまをお迎えし、このほど経営に環境を取り込んだ当行の「環境経営」のこれまでと、これからについてご意見をお聞きする「ステークホルダーダイアログ」を開催しました。「ダイアログ」は、企業がステークホルダー（利害関係者）の皆さまから、双方向でさまざまなご意見をお聞きし経営に反映していこうという場で、結果は企業リポートなどを通じて公開されています。

当日の「ダイアログ」では、「行是」と「CSR憲章」の精神に沿って全役職員が一丸となり、多様な環境保全活動が展開されている「外部から見ている」、軸がぶれず、本気で取り組まれている「などの評価とともに」、「金融業界において幅広い横の展開を望みたい」「持続可能な社会の構築に向け、地域の力や魅力をもっと引き出し、全国のモデルとして発信してほしい」などのアドバイスもいただきました。当日の詳細は9月下旬にも発刊予定の当行「CSRリポート2013」をご覧くださいと存じます。さて7月10日、琵琶湖の固有種で絶滅危惧種「ニゴロブナ」と「ワタカ」の保護、育成、放流事業資金を滋賀県水産振興協会に寄付させていただきました。

今年で7年目となりますが、これまでの6年

間にニゴロブナ21万匹、ワタカ14万匹が放流されています。この資金は、お客さまが当行の環境対応型融資商品をご利用され、太陽光発電システムなどの導入により削減された温室効果ガスを当行が推計して排出権取引価格を参考に金額換算し拠出しているものです。

かつて年間500トンを超えた「ニゴロブナ」の漁獲高は1997年、18トンにまで激減しましたが、関係者のご尽力で2011年には45トンまで回復したとお聞きしました。子ども頃はお腹の薬と祖父に勧められ、最近はお酒の肴として欠かせない「ふなずし」。再び多くの家庭の食卓に上ることを大いに期待している次第です。ところで、当行の新しいテレビCMで「ニゴロブナの稚魚放流」風景が、つじあやのさんの新曲「心ゆだねて」にのって7月から「びわ湖放送」で放映中です。私も、散歩途中に孫たちと一緒に放流を見物する近隣のおじいさん役でチラッと映っています。

当行は10月に創立80周年を迎えます。「これまででも、これからも」との決意も新たに、今回の「ステークホルダーダイアログ」でのご意見を踏まえ、滋賀から「持続可能な社会」モデルの創出に努力してまいります。

ご支援をお願い申し上げます。